

最新！インスタントラーメンに関する意識調査結果

一般社団法人 日本即席食品工業協会では、インスタントラーメンに関する消費者意識調査を継続して行っています。最新の 2016 年度の調査結果がまとまりましたのでお伝えします。

〔調査対象者〕 全国の 15～74 歳 男女 3,000 人 〔調査期間〕 2016 年 10 月 28 日～31 日 〔調査方法〕 インターネット調査

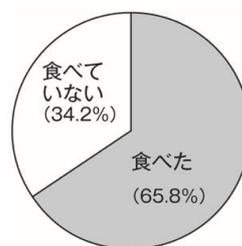
1. 【即席めんの摂取状況】

●最近 3 カ月に食べた人は袋めん 65.8%、カップめん 76.3%

最近 3 カ月間に即席めんを食べたか聞いたところ、『袋めん』は 7 割弱 (65.8%、2014 年度は 70.2%、以下同じ) が、『カップめん』では 8 割弱 (76.3%、同 76.8%) が「食べた」と答えています。

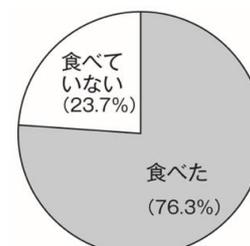
『袋めん』『カップめん』ともに、前回より食べた人はやや減少したものの、即席めんが日本の食生活に深く根付いている様子がうかがえます。

■最近 3 カ月間に『袋めん』を食べたか



〈N=3,000〉

■最近 3 カ月間に『カップめん』を食べたか



〈N=3,000〉

●最近 1 カ月で即席めんを食べた人は 85.0%。袋めん、カップめんの両方食べた人は約 5 割

1 カ月の摂取状況を見ると、即席めんの摂取率 (『袋めん』『カップめん』のいずれか、あるいは両方食べる人の割合) は 9 割弱 (85.0%) です。「『袋めん』と『カップめん』を両方食べた」人は全体の約 5 割 (52.9%) を占め、「カップめんのみ」(21.3%)、「袋めんのみ」(10.8%) を大きく上回っています。

●1 カ月に食べる個数は袋めん 2.1 個、カップめん 2.7 個

1 カ月間に食べる即席めんの個数を聞いたところ、平均すると『袋めん』2.1 個、『カップめん』2.7 個でした。性別では男性 (袋めん 2.4 個、カップめん 3.4 個) の方が女性 (袋めん 1.9 個、カップめん 2.0 個) より多く、男性の『カップめん』の個数 (3.4 個) がもっとも多くなっています。

■1 カ月間に食べる平均個数 (性別)

* 数値は「個」

		袋めん	カップめん
全体	(N=3000)	2.1	2.7
性別	男性 (n=1502)	2.4	3.4
	女性 (n=1498)	1.9	2.0

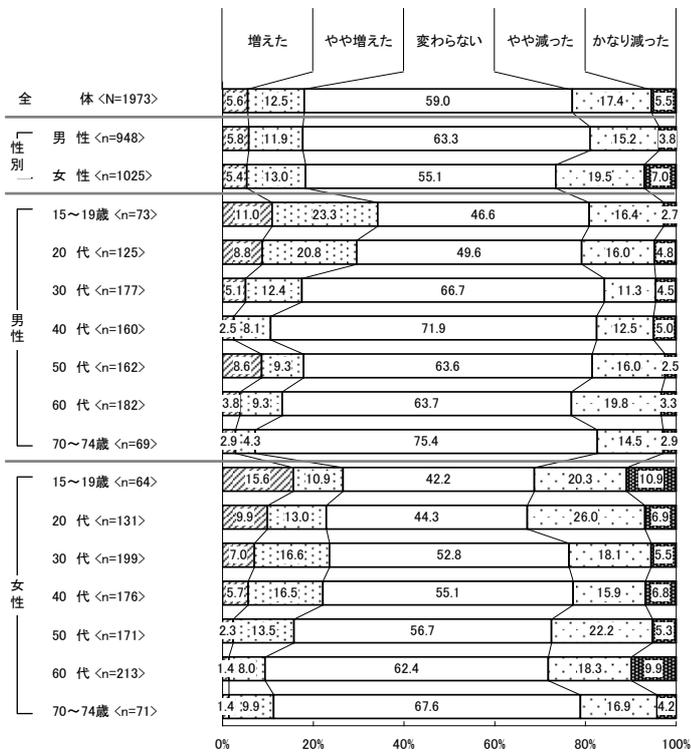
●若い世代の男女の摂取頻度・量が増加。

最近3カ月間の『袋めん』摂取経験者(1,973名)と『カップめん』摂取経験者(2,290名)のそれぞれに、「昨年と比べて、今年は『袋めん』、『カップめん』を食べる頻度や量は増えたと思うか」と聞いたところ、「変わらない」(袋めん59.0%、カップめん53.9%)という回答が半数以上を占めました。「増えた(増えた+やや増えた)」(同18.0%、20.7%)という人と「減った(やや減った+かなり減った)」(同22.9%、25.5%)という人は、いずれも約2割から3割弱です。

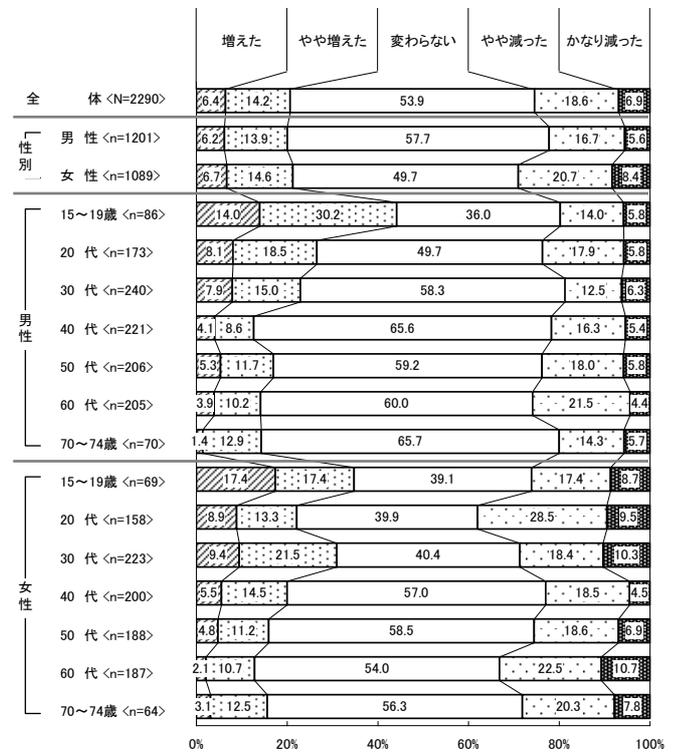
性・年代別にみると、男女とも若い年代で「増えた」と答える傾向があります。なかでも男性15~19歳で「増えた」人は、『カップめん』で4割強(44.2%)、『袋めん』で3割強(34.2%)もあり、若者たちの間で即席めんの良さが見直されている様子が見えます。

■昨年と比べて今年は「即席めん」を食べる頻度や量が増えたと思うか

袋めんの増減



カップめんの増減



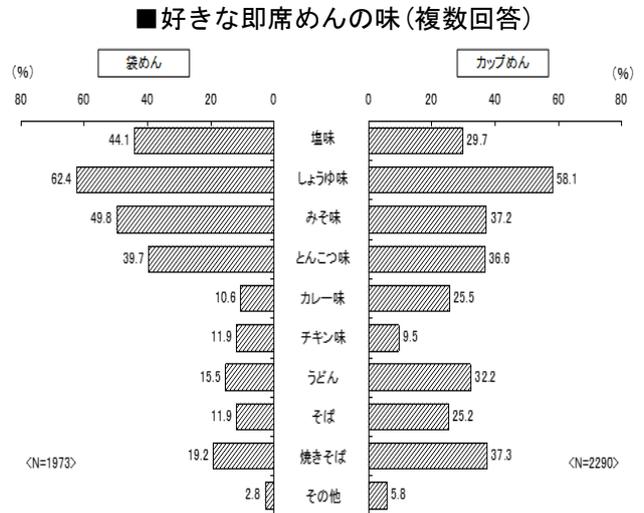
2. 【即席めんの良さ】

●好きな味は『袋めん』は①しょうゆ ②みそ ③塩 『カップめん』は①しょうゆ ②やきそば ③みそ

最近3カ月間に即席めんを食べたことがあると答えた人に好きな味について聞いたところ、『袋めん』では「しょうゆ味」(62.4%)が最も多く、以下「みそ味」(49.8%)、「塩味」(44.1%)、「とんこつ味」(39.7%)が続いています。

『カップめん』では「しょうゆ味」(58.1%)が最も多く、以下「焼きそば」(37.3%)、「みそ味」(37.2%)、「とんこつ味」(36.6%)、「うどん」(32.2%)、「うどん」(32.2%)、「うどん」(32.2%)の順となり、ラーメン以外の即席めんをあげる人も少なくありません。

なお、全体的に前回調査と大きな違いはありませんでした。

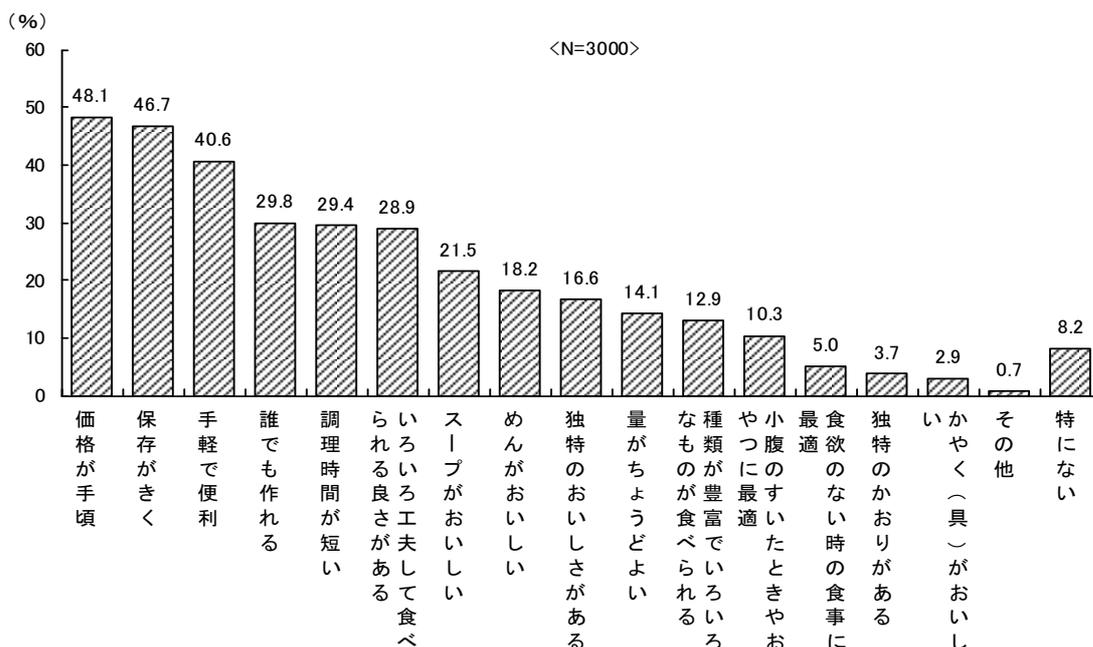


●袋めんの良さは、①価格が手頃 ②保存がきく ③手軽で便利

カップめんの良さは、①手軽で便利 ②調理時間が短い ③保存がきく

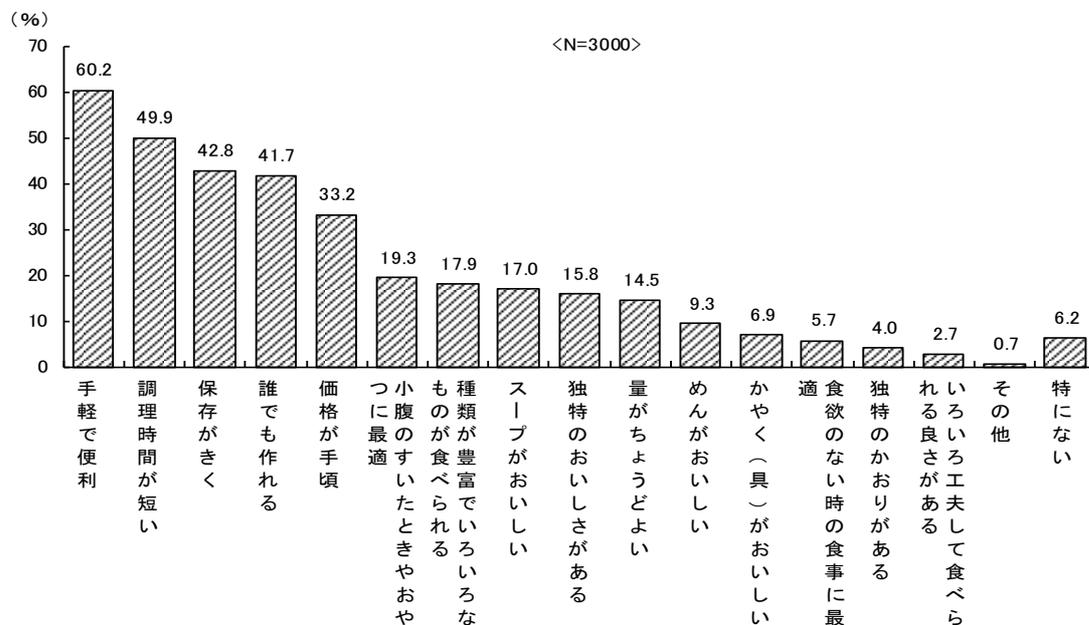
即席めんの良さをどのようなところに感じるかを聞いたところ、『袋めん』では、「価格が手頃」(48.1%)、次いで「保存がきく」(46.7%)が上位で、いずれも5割弱でした。以下「手軽で便利」(40.6%)、「誰でも作れる」(29.8%)、「調理時間が短い」(29.4%)、「いろいろ工夫して食べられる良さがある」(28.9%)、「スープがおいしい」(21.5%)、「めんがおいしい」(18.2%)、「独特のおいしさがある」(16.6%)、「量がちょうどよい」(14.1%)、「種類が豊富でいろいろ食べられる」(12.9%)、「やつに最適」(10.3%)、「小腹のすいたときやお腹が空いたときや食事の最適」(5.0%)、「独特のにおいがある」(3.7%)、「いかやく(具)がおいしい」(2.9%)、「その他」(0.7%)、「特にない」(8.2%)の順でした。

■「袋めん」の良さを感じるどころ(複数回答)



次に、『カップめん』の良さを聞いたところ、「手軽で便利」が約6割（60.2%）で最も多く、次いで「調理時間が短い」（49.9%）があげられ、『袋めん』に比べて“簡便性”が高く評価されています。以下「保存がきく」（42.8%）、「誰でも作れる」（41.7%）、「価格が手頃」（33.2%）、「小腹のすいたときやおやつに最適」（19.3%）の順でした。

■「カップめん」の良さを感じるどころ（複数回答）



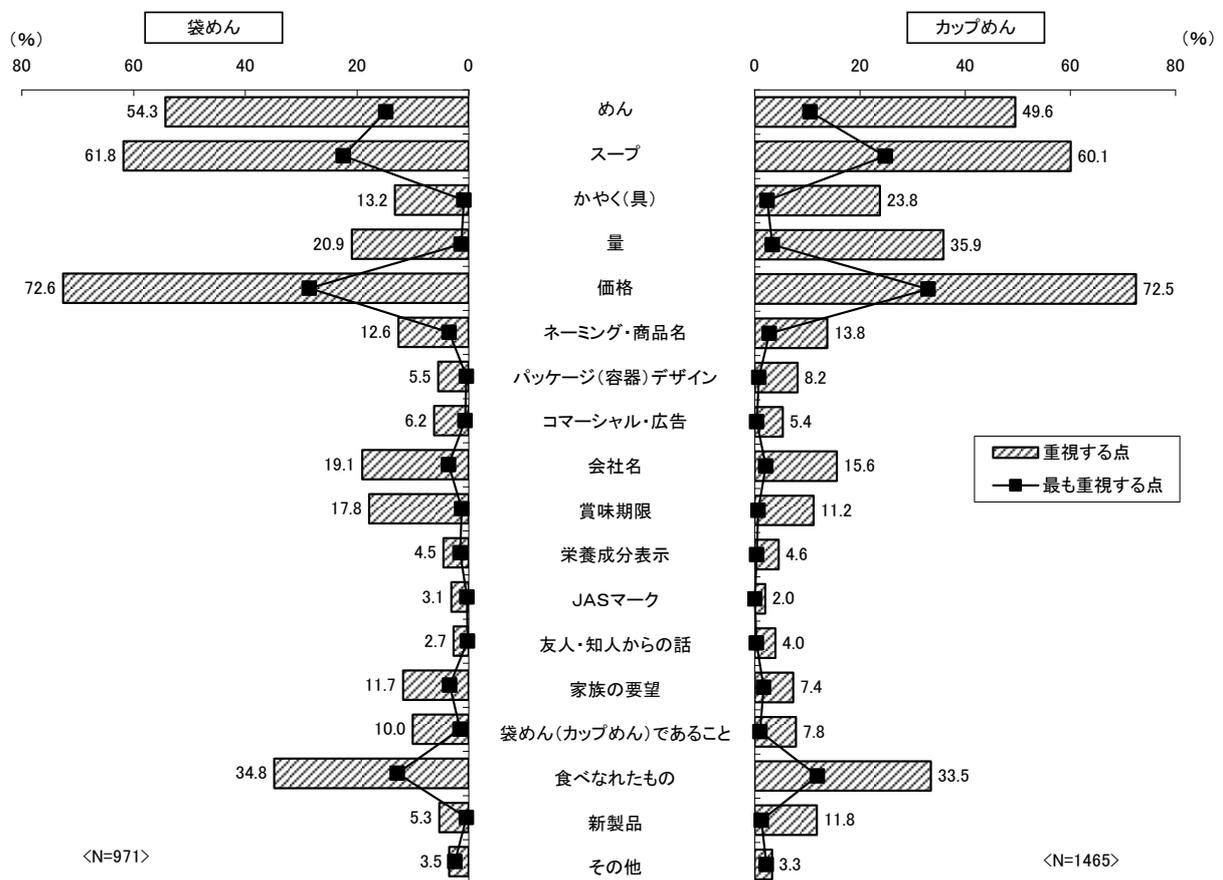
3. 【即席めん購入状況】

●買う時に重視することは「価格」がトップで、「スープ」、「めん」が続く

「主に袋めんを購入する」と回答した人（971名）と「主にカップめんを購入する」と回答した人（1465名）のそれぞれに、買う時に重視する点を複数回答で答えてもらったところ、『袋めん』『カップめん』ともに「価格」（袋めん72.6%、カップめん72.5%）がトップで7割強でした。以下「スープ」（同61.8%、60.1%）、「めん」（同54.3%、49.6%）が続きました。

その中で「最も重視すること」を聞いたところ、「価格」（同28.5%、33.0%）、「スープ」（同22.5%、24.8%）が上位になり、この2つが重要視されているようです。「めん」（同14.8%、10.5%）、「食べなれたもの」（同12.8%、11.9%）と答えた人も1割強います。

■「即席めん」を買うときに重視する点（複数回答）

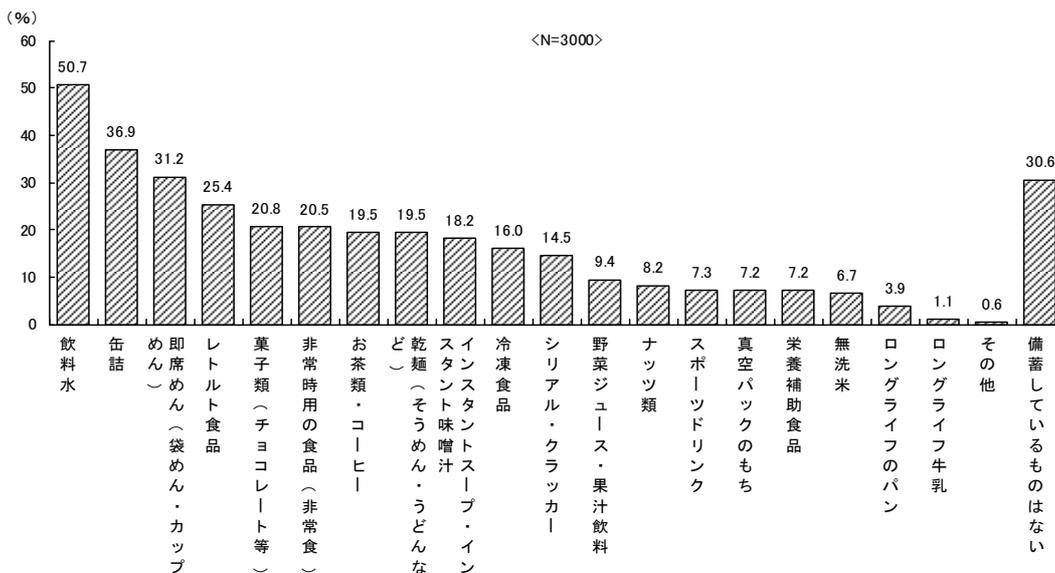


4. 【防災用備蓄食品としての即席めん】

●防災用に備蓄している食品のベスト3は「飲料水」「缶詰」「即席めん」 災害時に「即席めん」は役立ちそうだと思う人は3割強

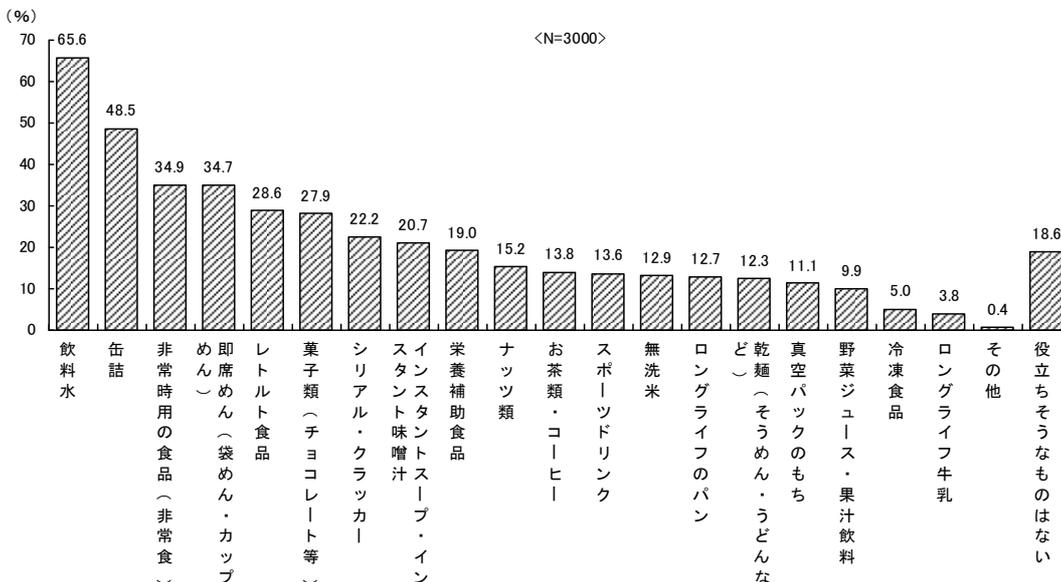
防災対策として備蓄している食品について聞いたところ、約7割（69.4%）の人は何らかの食品を備蓄しており、最も上位にあげられた食品は「飲料水」（50.7%）でした。以下、「缶詰」（36.9%）、「即席めん（袋めん・カップめん）」（31.2%）、「レトルト食品」（25.4%）の順でした。

■防災対策として現在備蓄している食品（複数回答）



また、災害時に役立ちそうだと思う食品について聞いてみると、「飲料水」（65.6%）、「缶詰」（48.5%）が上位にあげられました。次いで、「非常時用の食品（非常食）」（34.9%）、「即席めん（袋めん・カップめん）」（34.7%）が3割強、「レトルト食品」（28.6%）、「菓子類（チョコレート等）」（27.9%）、「シリアル・クラッカー」（22.2%）、「インスタントスープ・インスタント味噌汁」（20.7%）が2割台でした。

■災害時に役立ちそうだと思う食品（複数回答）



本件に関するお問い合わせ先

一般社団法人 日本即席食品工業協会
〒111-0053 東京都台東区浅草橋5-5-5 キムラビル3階
担当:鈴木 電話:03-3865-0811
URL <http://www.instantramen.or.jp>
Eメール daihyo@sokuseki-kyokai.com